

## よりよい社会をめざして

## 「10年後の札幌はどうなるの？ ～社会の一員として考える～」

3年 社会科 公民的分野

## I 実践の目指しているもの

この章は、公民的分野の最後の学習内容として位置づけられている。これまでの地理・歴史・公民的分野のすべての学習内容等を活用し、中学校の社会科の集大成としていくことをめざしている。学習指導要領には「持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。」というねらいが設定されている。学習内容については、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」副読本『10年後の札幌はどうなるの?』を、この章の学習を進めていく資料として活用するものとした。自分たちの将来の社会を、自分のライフストーリーと重ねて想起し、社会全体が抱えている課題を自分に関わらせて考えていくことをねらいとした。また、自分の生活を支えている社会を見つめ、よりよいものにしていくことを考えていくこともねらいとした。

## II 研究の内容

## 1 題材名（単元名）

終章—よりよい社会をめざして

「10年後の札幌はどうなるの？ ～社会の一員として考える～」

## 2 題材の目標（単元の目標）

持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。

## 3 題材の指導計画（5時間扱い）・単元構成など

- ① 副読本から現状を知り、個人テーマを設定する（1時間）
  - \*教科書を使っての学習内容のねらいの確認
  - \*副読本「10年後の札幌はどうなるの?」の提示
  - \*副読本P6の「3つのテーマ」を参考に、個人のテーマを選択
- ② 資料分析と課題解決への取組を考える（2時間）
  - \*前時で設定したテーマに関連する資料の検索と読み取り
  - \*読み取った内容をもとにした現在の状況の整理と課題の確認
  - \*テーマと資料の内容から、課題解決への取組を考える
- ③ 意見交流を通しての課題解決とまとめ（2時間）
  - \*他のテーマの課題・解決策への意見交流
  - \*個人としての課題意識の深化と学習のまとめ

#### 4 本時について

##### (1) 本時の目標

- ・副読本の資料を分析した内容をもとに、10年後の札幌市への課題解決に有効な意見を交流し合うことで、札幌市をよりよいものにしていくために必要なことを思考・判断し、話し合いやワークシートへの記述などで的確に表現することができる。(思考・判断・表現)

##### (2) 本時の展開 (4/5)

展開	◇生徒の活動 ◆教師のはたらきかけ
○前時の確認	◆前時までの授業内容を踏まえて札幌市の課題について整理し、全体で共有する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     班の発表                 </div>	◆本時のねらいを確認し、班ごとの発表を行う。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     【1暮らし・コミュニティ】【2産業・活力】【3低炭素社会・エネルギー転換】をテーマにした課題と解決策などを発表・交流する。                 </div>
① 課題の共有と意見交流 (25分)	◇テーマごとに、黒板にフリップを貼って内容を発表し、他のテーマを選択した生徒が意見をだして、各テーマについての意見交流をする。 ◇各班の発表を聞いて、札幌市の現状と課題を共有する。
考えの再構成 (35分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     &lt;話し合い活動&gt;                      札幌をよりよいまちにしていくにはどうすればよいのだろうか？自分たちが発表した解決策をさらに魅力的にするための方法を考察する。                 </div>
考えの整理 (45分)	◆各班の発表から、自分たちの考えをもう一度見直し、課題解決に重要なキーワードを小フリップに記入するように指示する。 ◇自分たちの考えをもとに「よりよい社会に必要なこと」のキーワードを小フリップに記入し、書き上がったらホワイトボードに貼る。 ◆黒板に貼り終わった小フリップを見て、考えの成果を共有する。
学習のまとめ (50分)	◇「自分たちの暮らす社会をよりよいものにするために」考えた学習を振り返り、ワークシートに自分の考えをまとめる。 ワークシートに記入したことを数人に発表させ、本時とこの章の学習への取組全体を評価し、学習をまとめる。

#### <活用資料>

中学校3年生 社会科副読本『10年後の札幌はどうなるの?』

(札幌市 市長政策室 政策企画部 企画課 発行)

※年度毎に市立の中学校3年生に、副読本として配布されています。

※副読本の内容に沿った、授業で使用できるワークシートも提示されています。

## 5 実践のポイント

- ・「手の届く社会」を意識させるため、オリエンテーションで自分のライフストーリーを作成する。
- ・生徒の学ぶ意欲を高めるため、生徒が選択した課題を尊重した班構成とした。
- ・個人での資料の読み取り時間を十分確保する。本授業では「札幌市まちづくりビジョンから学ぶ 持続可能な社会の形成」のワークシートを使用した。
- ・支援が必要な生徒には細やかな指導を行うよう配慮した。
- ・本授業では他のテーマとの関連性を見だし考えを深めさせるため、「札幌をよりよいまちにしていくにはどうすればよいのか？自分たちが発表した解決策をさらに魅力的にするための方法」を生徒に考えさせた。
- ・「限られた予算の中では三つしか行うことができない。もし優先順位を付けるならどれを選びますか」など、実際の政治を意識させて考察させる手法も考えられる。

## Ⅲ 実践のためのワークシート・資料例

札幌市まちづくり戦略ビジョンから学ぶ 持続可能な社会 生徒用ワークシートを活用

①わたしのテーマ

高齢者 待機児童 についてのこれか

②わたしがこのテーマにした理由

これからさらに増える高齢者、この方に介護を充実  
させていくべきか。  
反対に減っていく(がもしない)子どもに対しても どんな  
対応をしていくべきか、と思ったから

## 基礎編

③私が特に注目した資料は

資料名	資料名
1. 地域に密着した 組織基盤 施設基盤	9. 札幌市の待機児童の状況
資料から読み取ったこと	資料から読み取ったこと
<ul style="list-style-type: none"><li>・年々、そういった施設は増えてきている</li><li>・認証数、ということば、認証していない物もあるのでは？</li><li>・全国ではどうか。</li></ul> (児童会館と 認可園、保育園等は) 何か違うのかな？ -5割？	<ul style="list-style-type: none"><li>・増加の仕方には、波があるように見える</li><li>・24年から25年の間で、20.21年あたり の人数まで下がった。<ul style="list-style-type: none"><li>・しかし、24~25のあたり把握方 法の差も同じ方法だと +200程</li></ul></li><li>・多い。</li><li>・全国で毎年5000程減少 (7900?)</li></ul>